

『再生可能エネルギーを活用した建築と“まち”は 今後どこへ向かうのか』

太田 勇 氏

(株式会社ミサワホーム総合研究所 取締役執行役員, 所長)



『建築の分野から取り組む包括的地球環境対策の 中での太陽光発電への期待とZEBの未来』

白江 龍三 氏

(環境建築家、一級建築士、(株)白江建築研究所代表)



2025年11月25日(火) 15:00~17:00

会 場 : 日本大学工学部駿河台キャンパス 1号館 3階 132教室

参加費 : 講演会 : 無料 (SDC会員) 、 1,000円 (会員外)

懇親会 : 4,000円 (会員・会員外共)

ご参加の方は11月18日 (火) までに下記URLより登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/zAGMenLnq8JfDnyW9>

講演会

14:30~受付

司会 : 石井久史 (SDC副会長 : (株) LIXIL)

15:00~15:05 開会の挨拶 宮崎 淳 (SDC会長 : (株) 日本設計)

15:05~15:50 『再生可能エネルギーを活用した建築と“まち”は今後どこへ向かうのか』
太田 勇 氏 (株式会社ミサワホーム総合研究所, 取締役執行役員, 所長)

15:50~16:00 休 憩

16:00~16:45 『建築の分野から取り組む包括的地球環境対策の中での太陽光発電への期待と
ZEB の未来』
白江 龍三氏 (環境建築家、一級建築士、(株)白江建築研究所代表)

16:45~16:50 閉会の挨拶 大野二郎 (SDC名誉会長 : 大野二郎環境建築研究所)

懇親会

17:10~19:10頃 懇親会 (会場 ; 1号館 2階「カフェテリア」 : 別紙参照)

太陽エネルギーデザイン研究会

講演概要・講演者プロフィール

講演① 『再生可能エネルギーを活用した建築と“まち”は今後どこへ向かうのか』

断熱気密性能を確保しつつ開放性のある建築環境デザインは、エネルギー資源が乏しい日本において独自の発展を遂げ、夏も冬も旨とすることが一般化した。一方、石油ショックを契機とした太陽熱利用・太陽光発電技術は一時期世界シェアを独占する勢いがあったが、近年はその勢いに陰りが見える。2050年のカーボンニュートラル化は待ったなしの状況にあり、今一度日本の全産業を巻き込んだ技術開発により、世界に先駆けて“まち”単位でのカーボンフリー化とレジリエンス向上を実現することが求められる。本講演ではその取り組みの一旦を“水素”をキーワードにご紹介したい。

太田 勇氏（株式会社ミサワホーム総合研究所 取締役執行役員, 所長）

博士（工学）、2008、北海道大学大学院

「屋根全面太陽光発電システムを設けたゼロ・エネルギー仕様住宅のエクセルギー経済評価」

略歴：

- ・1992:ミサワホーム株式会社
- ・1993-1994;株式会社ミサワホーム総合研究所
- ・2001-2007;環境研究室 主事
- ・2008-2014;環境研究室長
- ・2015-2017 環境エネルギーセンター長
- ・018-2024 取締役執行役員, 環境エネルギーセンター長2001-2007;
- ・2025- 取締役執行役員, 所長

受賞歴：

*日本太陽エネルギー学会：最優秀論文賞，“発電設備を備えた省エネルギー住宅のエクセルギー経済評価”，2008

*日本デザイン振興会：グッドデザイン賞，“涼風制御システム”(2007)、“ドリップルーバー”(2013)、“Sustainable Living Architecture”(2019 特別賞)

外部団体活動：

*一般社団法人 日本太陽エネルギー学会 理事 副会長

*一般財団法人 日本空調冷凍研究所 評議員

*一般社団法人 環境共生街づくり協会 推進部会長



太田 勇

(おおた いさむ)

講演② 『建築の分野から取り組む包括的地球環境対策の中での太陽光発電への期待 とZEBの未来』

建築の分野から地球環境問題に取り組もうとするとき、CO2負荷を増大させることなく無料でエネルギーが得られる太陽光発電は大きな魅力ですが、かつては得られるエネルギーが微弱で、採算性も悪く、アトリエ系建築家が取り組む技術としては期が熟していないとの印象がありました。そんな時代から太陽光発電を建築に取り入れたいと考えた建築家の悪戦苦闘の歴史のお話をします。また、現在はゼロエネルギービルの普及に取り組んでいますが、ここでも太陽光発電は欠かせないアイテムですが、その課題と未来への期待についてお話しします。

白江 龍三氏（環境建築家、一級建築士、(株)白江建築研究所代表）

略歴：

1952年埼玉県生まれ。日本大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。

1978年(株)菅原建築事務所に入社し、9か月間ほどの短期ではあったが住宅の設計に参加。

1979年(株)日本設計事務所（現：(株)日本設計）にフリーランス・嘱託として入社。動物園や植物園、研究所の実験施設などの設計に参加。エコ技術やハイテク技術に触れる。この間、進化生物学研究所理事長の近藤典生博士のご指導をいただく。

1988年に(株)白江建築研究所を設立し、エコ技術、ハイテク技術を使って地球の生命環境に整合した建築の実現と、それらの技術が切り開く新しい美の世界の具現化を目指して設計活動を開始し、現在に至る。

この間に日本大学非常勤講師、前橋工科大学非常勤講師、(株)日建設計代表付きなど兼任。

2010年宇都宮大学博士課程後期満期退学。

受賞歴：

1989年 日本設計時代に東京都多摩動物公園昆虫生態園の設計にて、日本建築学会賞作品賞を受賞（3名の連名）。

自社設立後 グッドデザイン賞、文教施設協会賞、BELCA賞、日本免震構造協会賞、JIA環境建築賞、アルプロゲットアワード2006、シカゴ アテナウムM.A.D/I.A.A、シカゴ アテナウム：M.A.D/GREEN GOOD DESIGNなど受賞

社会活動：

展覧会、国際シンポジウムなどの実行委員、行政の住宅政策・エコ施設政策審議員など、プロポーザル審査員、施設監修、国土交通省「省エネ法講習会」講師など。

2012年～ J I A 木材利用促進/エネルギー関連セミナーなど実施



白江 龍三

(しらえ りゅうそう)

太陽エネルギーデザイン研究会 講演会・懇親会 会場案内

日時：2025年11月25日(火) 15:00～16:50頃

講演会：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館 3階 132教室 (←タワースコラではありません)

住所；千代田区神田駿河町1-8-14

アクセス；(JR御茶ノ水駅,千代田線新御茶ノ水駅、徒歩2～3分

東京メトロ丸の内線淡路町駅、都営地下鉄新宿線小川町駅、徒歩約3～4分)

懇親会：17:10～19:10頃

会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1号館2階「カフェテリア」

講演会：1号館 3F 132教室
懇親会：1号館 2F 「カフェテリア」



- A ...入試事務室 カフェテリア CST ホール
- B ...情報教育研究センター 購買部 カフェ
- C ...図書館
- D ...材料創造研究センター
- E ...研究支援センター

太陽エネルギーデザイン研究会

URL : <http://www.solar-design.jp/>

E-mail : info@solar-design.jp